

●p.94 下から 10 行目

[改訂前]

例) 体重減量プログラムの体重 1kg を減らす効果に対してかかった費用

参加者 6 人全員で合計 20kg の減量に成功，プログラムの総費用 12 万円。

→ (費用) 120,000 円 / (効果) 20kg = (費用効果) 6,000 円/kg
体重 1kg 減量のために，6,000 円かかったと算出できる。

複数のプログラムの費用効果を比較する場合，同じ効果に対するそれぞれのプログラムの費用を比較する。

[改訂後]

例 1) 体重減量プログラムの体重 1kg を減らす効果に対してかかった費用

参加者 6 人全体で合計 20kg 減量した。プログラムの総費用 (6 人) 12 万円。

→ (費用) 120,000 円 / (効果) 20kg = (費用効果) 6,000 円/kg
体重 1kg 減量のために 6,000 円の費用がかかったと算出できる。たとえば 3kg 減量した人では，18,000 円の費用がかかったことになる。

例 2) 体重減量プログラムで減量成功の効果に対してかかった費用

減量成功を体重 5%減としたところ，参加者 6 人のうち 3 人が減量に成功した。プログラムの総費用 (6 人) は 12 万円。

→ (費用) 120,000 円 / (効果) 3 人 = (費用効果) 40,000 円/人
減量成功者 1 人につき，40,000 円の費用がかかったと算出できる。

●p.95 上から 3 行目

[改訂前]

例) 1 年間の糖尿病教室の実施による便益

参加者 12 名のうち，6 名の血糖値が改善し薬物療法がなくなった。プログラムの総費用は 10 万円であった場合

→ (便益) 医療費 = 治療薬 60,000 円/年 × 6 人 (改善者) / 12 人 (参加者)
= 30,000 円/人・年

生産性損失 = 平均生産利益 2,000 円/時 × 通院治療時間 90 時間/年
× 6 人 (改善者) / 12 人 (参加者)
= 90,000 円/人・年

(医療費 30,000 円 + 生産性損失 90,000 円) / (費用) 100,000 円

(費用便益) 教室の効果 (便益) が実施費用を 2 万円上回り，費用 1 万円あたり 1.2 万円の便益が得られる

[改訂後]

例) 1年間の糖尿病教室の実施による便益

糖尿病治療にかかる1年間の医療費と生産性損失が以下の通りの12人に対し、糖尿病教室（プログラム費用100,000円/人）を実施した。教室実施後、6人が改善し、治療が不要になった。

医療費：60,000円/人

生産性損失：180,000円/人（平均生産利益2,000円/時×通院治療時間90時間/年）

<1人あたりの計算>

- ・プログラム費用100,000円/人
- ・医療費： $(60,000 \text{円/人} \times 6 \text{人}) / 12 \text{人} = 30,000 \text{円/人}$
- ・生産性損失： $(180,000 \text{円/人} \times 6 \text{人}) / 12 \text{人} = 90,000 \text{円/人}$

糖尿病教室の結果、1人あたりの糖尿病治療に対する費用120,000円が削減された。

- ・便益：糖尿病教室により削減された費用120,000円/人
- ・費用：プログラム費用100,000円/人
- ・費用便益比：1.2（便益/費用が1以上であると、かかった費用よりメリットがあったといえる）
- ・純便益：20,000円（便益－費用で、値が正であると、便益が費用を上回りメリットがあったといえる）

<集団（12人）としての計算>

- ・プログラム費用（12人） $100,000 \text{円} \times 12 \text{人} = 1,200,000 \text{円}$
- ・医療費： $60,000 \text{円/人} \times 6 \text{人} = 360,000 \text{円}$
- ・生産性損失： $180,000 \text{円/人} \times 6 \text{人} = 1,080,000 \text{円}$

糖尿病教室の結果、12人全体で糖尿病治療に対する費用1,440,000円が削減された。

- ・便益：糖尿病教室により削減された費用1,440,000円
- ・費用：プログラムの費用1,200,000円
- ・費用便益比：1.2
- ・純便益：240,000円